

令和6年11月1日

乳牛市況情報

(毎月1日現在)

全農酪農部
ホクレン酪農部

《前月の動き》

10月については、年明け分娩が出回りの中心となり、残暑が緩和されたものの、暑熱期事故等の代替などの更新需要が限定的であったことから、平均価格は437千円（前月比1千円高・前年比7千円高）と、ほぼ横ばいで推移した。

《参考》 10月乳牛専門市場初妊牛取引価格帯

単位：円・頭・%

価格帯	~300,000	~350,000	~400,000	~450,000	~500,000	500,001~	合計
出場頭数	388	460	470	465	421	655	2,859
成立頭数	168	368	428	437	414	647	2,462
取引率	43.3	80.0	91.1	94.0	98.3	98.8	86.1

《今後の動き》

11月については、1~2月分娩が出回りの中心となり、更新需要を中心に一定の引き合いが見込まれることから、相場は強含みで推移することが予想される。

《予想相場》

単位：千円

種別	ランク	極上	上	中
	育成(8~12ヶ月令)		>300	300~250
初妊		>520	520~460	460~400
経産	2~4産	>350	350~300	300~250
	5産以上	250中心		

※予想相場はET移植以外の登録牛を対象としています。